

Ⅲ 令和2年度企業会計の決算状況

1 水道事業会計

〔概要〕

令和2年度の水道事業の運営については、安定給水の確保と住民福祉の向上を図るため、施設の維持管理、改良整備、更新等を実施しました。

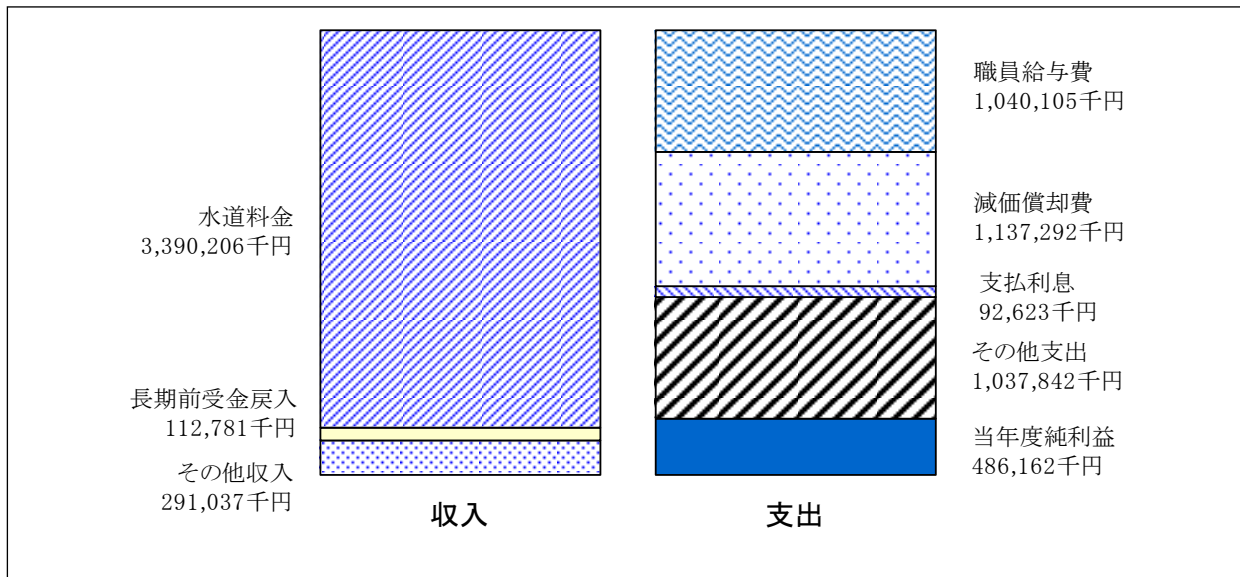
主な事業としては、地震等の災害対策として配水管の耐震化を図る基幹管路整備工事、老朽管更新工事及び広瀬浄水場2系傾斜板沈澱池耐震補強工事等を実施しました。

給水状況については、給水戸数は73,195戸(前年度比100.7%)で、給水量は19,862,347 m³(前年度比101.0%)となり、有収水量は18,185,302 m³(前年度比100.5%)となりました。

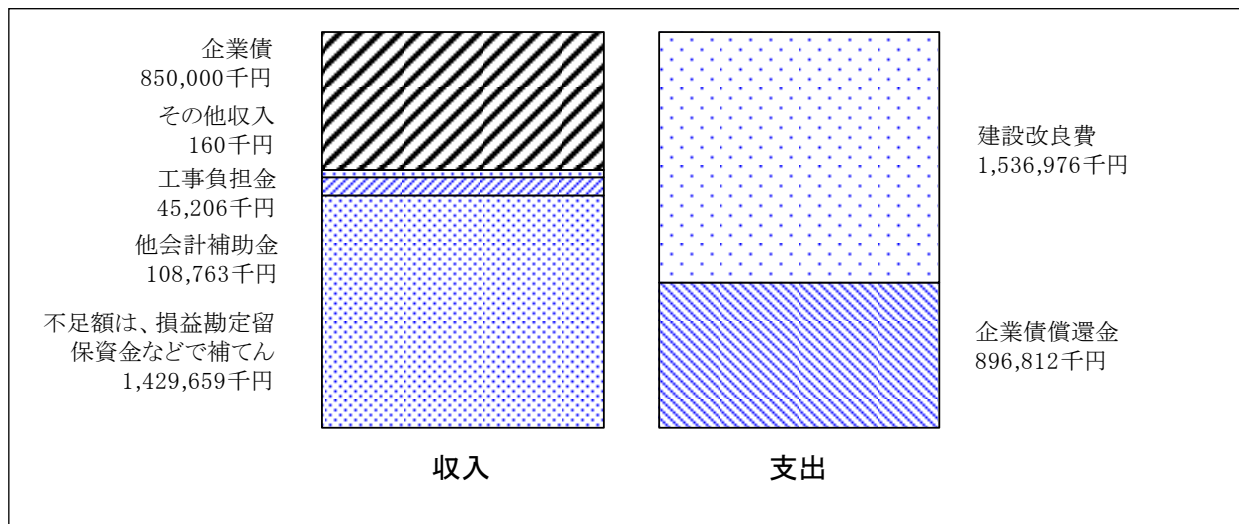
経営成績については、事業収益は3,794,024千円に、事業費用は3,307,862千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は486,162千円に、また、当年度未処分利益剰余金は959,538千円となりました。

一方、資本的収支については、収入1,004,129千円、支出2,433,788千円となり、差引不足額は1,429,659千円となりましたが、これは、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額130,081千円、減債積立金100,000千円、建設改良積立金300,000千円、過年度分損益勘定留保資金329,263千円及び当年度分損益勘定留保資金570,315千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕



※資本的収入額は、翌年度繰越工事財源の額を控除した額